

レジメンcode:	C53-09
適応がん種:	子宮頸癌
レジメン名:	Cemiplimab
間隔:	3週間

備考

略名	抗がん剤(採用薬品名)	投与量	単位	投与法	投与日
	リブタヨ	350	mg/body	点滴(30分)	d1

day1

- | | | | | | |
|---------|------|-------------|--------|--------------|--|
| 1) 生食 | 50ml | 1本 | ルート確保 | | |
| <hr/> | | | | | |
| 2) リブタヨ | | 350 mg/body | | | |
| 生食 | 50ml | 1本 | | | |
| | 主管① | 点滴 | 30分 | インラインフィルター必須 | |
| <hr/> | | | | | |
| 3) 生食 | 50ml | 1本 | フラッシュ用 | | |

〈所要時間 約1時間〉

【文献】

国際共同第Ⅲ相試験(R2810-ONC-1676試験)Nengi J Med 2022;386:544-55(PMID:35139273)

*適応: がん化学療法後に増悪した進行又は再発の子宮頸癌(一次治療における有効性及び安全性は確立していない)

*PD-L1発現の有無は問わない。

【リブタヨ】

*甲状腺機能障害、下垂体機能障害及び副腎障害があらわれる事があるため、投与開始前及び投与期間中は定期的に内分泌機能検査を実施すること。

◎検査セット登録あり: 場所 カルテ→(検体)→(特殊セット)→(免疫チェックポイント初回)(免疫チェックポイント2回目～)

*インラインフィルター(0.2~5μm)を使用する。

*NSに溶解し、最終濃度を1~20mg/mlとする。

*同一点滴ラインを使用して他の薬剤を併用同時投与しない。

*希釈後、25℃以下で合計24時間以内に使用する。

*有害事象(肺、肝、内分泌障害、皮膚、胃腸、腎、神経関連など)対処アルゴリズムを参照する。

*臨床試験での検査スケジュール、投与延期または休薬基準を参照する。